

平成 24 年 2 月 9 日

ResearcherID による研究成果公開促進と研究組織の活性化について

学長 上井喜彦

埼玉大学は、理工学研究科を中心として、自然科学分野で世界に向けて着実な研究成果を積み上げており、これらの成果を専門の科学者に情報提供するだけでなく、広く一般社会に公開する目的で、SUCRA リポジトリの活用を推進してきたところです。

一方で、グローバルな展開を求められる現代の大学では、論文内容（コンテンツ）の公開にとどまらず、論文の被引用数および発信数、共同研究者の所属および研究分野、引用論文のコンテンツおよび論文引用者の情報などを、世界的視野で分析し、効率よく公開することも求められています。

そこで、理工学研究科、脳科学融合研究センター及び環境科学研究センター等の全教員には、ResearcherID（RID）を別紙の通りすみやかに取得し、本学が契約している学術データベース「Web of Science」上で公開されている研究成果を自身の ID にひもづけ、研究情報の公開を求めると同時に、RID を活用し、異分野との共同研究や他大学との連携を検討するなど、研究組織の活性化につながる取り組みを展開することを求めます。

なお、人文・社会科学、経済学、教育学分野の教員におかれては、RID を活用するために必要な、人文・社会科学系 Web of Science データベース環境が、本学では未整備なため、RID 取得は今後の検討課題とします。

ResearcherID のより詳細な取得方法等については、近日中に教育・研究等評価室のホームページに掲載する予定です。